

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

2013 年度第 4 回（通算第 19 回）理事会 議事録

1. 開催日時：2013（平成 25）年 12 月 8 日（日） 11：00～14：20（12:35～13:15 休憩）
2. 場 所：横浜市総合リハビリテーションセンター 4階会議室
3. 審議事項および資料
 - 第 1 号議案（専権等の報告）新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について
 - 第 2 号議案（専権等の報告）業務執行報告（総務系）
 - 第 3 号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系）
 - 第 4 号議案（専権等の報告）12 月 7 日事業連絡調整会議の報告
 - 第 5 号議案（専権等の報告）12 月 7 日統括会議報告
 - 第 6 号議案（専権等の報告）2013 年 7 月～2013 年 10 月までの決算報告
 - 第 7 号議案（専権等の報告）福祉機器コンテスト経過報告
 - 第 8 号議案（専権等の報告）西日本国際福祉機器展ブース出展及びセミナー開催の報告
 - 第 9 号議案（専権等の報告）新規後援依頼「ウェルフェアデザインコンテスト」の専権行使
 - 第 10 号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について
 - 第 11 号議案（専権等の報告）九州・沖縄・山口支部の設立に伴う WEB サイトとメールアドレスの立ち上げについて
 - 第 12 号議案（決議）新入会者の承認について
 - 第 13 号議案（決議）九州・沖縄・山口支部および関西支部の企画提案についての補助金支給
 - 第 14 号議案（決議）役員選挙の総会における承認
 - 第 15 号議案（決議）SIG の活動費申請
 - 第 16 号議案（決議）「補装具費支給制度の適切な理解と運用の在り方に関する調査研究」の調査等とりまとめの依頼について
 - 第 17 号議案（決議）公益認定申請に係るパブリックコメントの募集について
4. 理事総数 15 名
出席理事数 12 名
 - 会長（代表理事） 繁成剛
 - 理事 岩崎満男、沖川悦三、金井謙介、元田英一、剣持悟、鈴木聖貴、塚田敦史
島中規、古井 透、水澤二郎、宮野秀樹
 - 監事 井上剛伸、井村 保
 - 事務局 深野栄子
 - 欠席理事 相良二郎、高原光恵、山形茂生
5. 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (1) 定款第 49 条に基づき、議長となる会長の繁成剛が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
 - (2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の鈴木聖貴と塚田敦史の 2 名を選出した。

第1号議案（専権等の報告）新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について

事務局統括担当の沖川理事より、第3回の理事会以降に承認された9月14日～11月4日、11月5日～22日までの計3名の入会が報告された。

第2号議案（専権等の報告）業務執行報告（総務系）

総務統括担当の鈴木理事より、各業務執行理事の業務執行状況（9月29日～12月7日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ 副会長／公益法人化

- ・ 公益法人化に向けて社員向けのパブリックコメントを検討した。

■ 総務統括／規則選挙担当

- ・ 役員選挙における役員決定に関する総会時の対応について検討した。

■ 理事会・総会担当

- ・ 2013年度第3回法人理事会及び事後調整会議議事録の取りまとめを行った。
- ・ 2013年度第4回法人理事会開催案内及び準備を行った。

■ 事務局統括／財務担当

- ・ 公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備：前年度に団体・法人を統括した財務管理・諸表を基盤にして、公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備を実施した。本会計と並列で年度をまたぐカンファレンス事業とコンテスト事業をそれぞれ年度別に計上する形式に変更した。
- ・ 後援、協賛依頼への承認回答を行った。※後援2件（新規1件、継続1件）、協賛1件（継続1件）
- ・ ホームページの運営管理：会員サービスの一環とし、迅速に情報を掲載した。※9月0件、10月3件、11月2件
- ・ メールニュースの配信：メールニュースを配信し、会員に情報提供を行った。※10月1件、11月2件

■ 広報・渉外担当

- ・ 公益財団法人テクノエイド協会様より、協会宛に「補装具費支給制度の適切な理解と運用の在り方に関する調査研究」の調査等とりまとめの依頼があり、受諾可否について調整した。
- ・ 新規後援依頼：「ウェルフェアデザインコンテスト」（主催：特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター）について検討し、専権とすることで調整を進めた。

第3号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系）

事業統括担当の金井理事より、各業務執行理事の業務執行状況（9月29日～12月7日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ 協会誌担当

- ・ 協会誌（Vol.28 No.4）の発行（1000部）と会員への送付2013/11

■ 第3回編集委員会の開催（10/12 於：中村ブレイス株式会社、島根）分科会・委員会担当

- ・ 理事会にて審議の結果、第2回東日本大震災復興支援リハ工学講習会の開催日程を2014年4月12-13日に決定した。場所は福島県郡山市の予定である。
- ・ 各SIGにPPC2013への協力要請とチラシ配布措置を講じた。九州・沖縄・山口支部に対して、ブーススタッフ応援依頼とセミナーの企画を要請した。

■ 企画担当

- ・ 第30回カンファレンス開催予定地において、会場候補の調査と実行委員候補者を訪問し協力を要請した。（11/18）
- ・ 2名の障害者を訪問し、第30回カンファレンス開催のための協力要請と県内障害者の情報を収集した（11/19）。
- ・ ppc2013ブース出展および出展社プレゼンテーションを開催した。

■ 国際担当

- ・ 11/1-11/2にソウルで行われた第7回RESKO（韓国リハ工学会）カンファレンスにて次回リハ工学カンフ

ァレンス（広島）の広報を行った。

- ・ RESKO のボードメンバーDr. Song および Dr. Moon あてにメールにてごあいさつし、新理事会メンバーの名簿を送付し、先方への周知を依頼した。
 - ・ 協会 web サイトにて RESKO カンファレンスの周知をおこなった。
 - ・ 協会 web サイト英語版の理事名簿を更新した。
 - ・ 海外企業からの営業メールへの対応を行った。
- その他
- ・ 業務執行報告書（第2期分）の提出依頼と取りまとめ、理事会への報告を行った。
 - ・ ppc2013 出展に係る各種調整を行った。
 - ・ 次年度以降の展示会出展に関する意見交換した。

第4号議案（専権等の報告）12月7日事業連絡調整会議の報告

事業統括担当の金井理事より、12月7日に行った事業連絡調整会議の報告がされた。

出席者：金井事業統括理事、岩崎協会誌担当理事、沖川事務局統括理事、深野事務局長

■ カンファレンス

- ・ 第30回開催予定地：会場候補2案（会場費、シャトルバス）
開催時期2案あり、他学会とバッティングしていないか確認中である。
- ・ 広島：進捗が確認できないため、事業遂行をしっかりと行うよう確認する。
- ・ 岩手：決算書、報告書の理事会における承認をとるよう進めた。

■ 協会誌

- ・ 編集委員会の組織構成：査読担当を1~2名増員したい。しかし編集委員会内規が制定されていないので、至急対応が必要である。

■ コンテスト

- ・ 協会誌29-1（2月1日発行号）に報告書を合本するのに合わせ、コンテスト協賛企業の広告原稿の確認を進めた。2社受領済みである。

■ 分科会・委員会

- ・ SIGの位置づけについて
新規SIGは協会内の分科会という位置づけとし、既存SIGについては基本的に協力関係を持つ外部組織とするか、協会内の分科会とするか選択をしてもらう方向でよいか。
公益法人化となる場合、財務関連や非協会員であるSIG会員の位置づけ等の問題が生じるため、公益法人化担当に確認、検討の必要がある。
- ・ 支部：関西支部と車いすSIG、乗り物SIGとの共同セミナーを企画した。

■ 企画

- ・ 30周年記念事業を検討した。

■ 展示会

- ・ 次年度展示会企画についての素案を検討した。
- ・ バリアフリー2014について手続きを進める。

第5号議案（専権等の報告）12月7日統括会議の報告

総務統括担当の鈴木理事より、12月7日に行った統括会議の報告がされた。

出席者：繁成会長、鈴木総務統括理事、金井事業統括理事、沖川事務局統括理事、深野事務局長

■ SIG会員のあり方について

- ・ 公益法人化にむけての現在のSIG会員のあり方について再検討した。現在は協会内SIG、協会外SIGが検討されているが、協会外SIGについても協会内参加にできる方法案を探った。

■ 展示会出展計画の見直しについて

- ・ 来年度から西日本福祉機器展の出展費用が有料となる可能性があり、費用対効果から出展の見直しが必

要であり検討した。

■ 公益法人化に向けたパブリックコメントの内容について

- ・ 会員に対してのメリット・デメリットを箇条書きにわかりやすくまとめる方向となった。

第6号議案（専権等の報告）2013年7月～2013年10月までの決算報告

財務担当の沖川理事より、2013年9月～2013年10月までの収支計算書総括表、正味財産増減計算書総括表（フロー式）、貸借対照表総括表が提示され報告された。また、財務関連の引き継ぎを行い、次年度予算作成のスケジュール報告と、予算執行の手順（予算執行の手続について、旅費の請求（執行）について）が今回提示され、円滑な予算執行および予算作成について周知された。

第7号議案（専権等の報告）福祉機器コンテスト経過報告

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテスト2013についての経過報告がされた。

- ・ 第二次選考会：2013年8月23日 於リハ工学カンファレンス会場（8/22～24 盛岡市いわて県民情報交流センター）、機器開発部門：最優秀賞1点、優秀賞2点、学生部門：優秀賞2点を選考
- ・ 発表、表彰：第40回国際福祉機器展 HCR2013 会場内9月20日（金）
- ・ 展示、広報：リハ工学カンファレンス会場8月22日～24日（一次選考通過作品を展示
HCR2013 9月18日（水）～20日（金）（受賞作品の実物展示）
PPC2013（北九州市） 11月22日（金）～24日（日）（受賞作品の実物展示）
協会誌 Vol28, No4 に結果速報掲載
インターネットホームページに受賞作品を掲載予定
- ・ 結果報告書印刷中

第8号議案（専権等の報告）西日本国際福祉機器展ブース出展及びセミナー開催の報告

事業統括担当の金井理事より、事業計画に基づき、今年も西日本国際福祉機器展 ppc2013 へのブース出展およびセミナー開催について報告がされた。

■ ブース出展

- ・ 展示会事務局より4小間の無償提供をいただきブース展示を行った。展示内容は、福祉機器コンテスト2013入賞作品及び過去の入賞作品、協会パンフレット、各SIGの講習会等の案内であった。HCRなどに比べて出展社数も少ないため、来場者はじっくりとブースの展示内容を見ていただけたと思う。

■ セミナーの開催

- ・ 12/24（日）に展示会場内セミナースペースAで協会主催セミナーを2本開催した。40名の受講者があり、有意義なセミナーになった。また、小林氏による出展社ブースのガイドツアーも行った。内容は以下の通りである。

「リハ工学ディスカッション～ファッショナブルに生きるための車いすや乗りもの～」講師：小林博光氏、岩崎満男氏、岡野善記氏

「車いす座位の不良姿勢をすっきり整えるテクニック～あなたとワタシの腰痛予防～」講師：山形茂生氏、小林博光氏

「出展社ブースの見どころ聴きどころ勘どころツアー」担当：小林博光氏

第9号議案（専権等の報告）新規後援依頼「ウェルフェアデザインコンテスト」の専権行使

広報・渉外担当の塚田理事より、新規の後援依頼「ウェルフェアデザインコンテスト」（主催：特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター）があり、専権行使のために理事への意見収集を11/21～11/28で行ったところ、意見は無く、特に当該イベントについて、本協会の問題も無いと判断した。11/29に専権行使の発行を宣言し、専権事項として承認回答した後援依頼についての報告がされた。

第10号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について

事務局統括担当の沖川理事より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援、協賛依頼についての報告がされた。

- ・ 2013/10/03 協賛 感覚代行研究会：「第39回（2013年）感覚代行シンポジウム」（2013/12/9～10）
- ・ 2013/10/08 後援 広島国際大学：「広島国際大学 2013年度 秋の健康フェア」（2013/11/17）
- ・ 2013/11/29 後援 日本チェアスキー協会：「第35回日本チェアスキー大会」（2014/2/27～3/2）

第11号議案（専権等の報告）九州・沖縄・山口支部の設立に伴うWEBサイトとメールアドレスの立ち上げについて

分科会・専門委員会担当の岩崎理事より、九州・沖縄・山口支部の設立に伴い、支部庶務幹事（小林）より、WEBサイトとメールアドレスの立ち上げ希望依頼があり、審議の結果、満場一致で承認された。

- ・ URL <http://www.resja.or.jp/koy>
- ・ メールアドレス koy@resja.or.jp

第12号議案（決議）新入会者の承認について

事務局統括担当の沖川理事より、2013年度第3回（通算第18回）理事会以降のメーリングリストによる確認及び承認を行った者以降、今回の理事会までに新入会希望者がいなかったため、議案取下げとした。

第13号議案（決議）九州・沖縄・山口支部および関西支部の企画提案についての補助金支給

分科会・専門委員会担当の岩崎理事より、九州・沖縄・山口支部および関西支部より次の（1）～（2）の活動費の承認申請が挙げられ、審議の結果、満場一致で承認された。

承認11、非承認0

- 1) 九州・沖縄・山口支部：西日本国際福祉機器展(PPC2013)において、リハ工学ディスカッション・セミナー・出展ブース巡回ツアーの企画・運営費。
- 2) 関西支部：2014年4月20日の車椅子SIGとの合同セミナー「車椅子の昨日、今日、明日」（日本福祉用具評価センター：JASPEC）を開催。セミナーは話題提供の講師3名および支部スタッフ、ボランティア学生の約15名で実施。

第14号議案（決議）役員選挙の総会における承認

総務統括担当の鈴木理事より、今回代議員選挙（一般会員による）、役員候補者選挙（一般会員による）、役員選挙（代議員による）の3種を行い、前々理事会において役員選挙は定時社員総会の役員承認と重複することにより、その必要性が問われた。定款により役員は総会における承認事項で必要不可欠であることを確認したが、2013年度定時社員総会において、役員「承認・非承認」を役員候補者の目で行なうのはどうか？との意見が挙げられたため、役員選挙廃止も考えた。しかしその場合、総会内における投票、即開票が求められ集計に時間を要するので、総会時においては代議員による役員選挙の結果を発表する形式としたいとの提案があった。審議の結果、継続審議となった。

第15号議案（決議）SIGの活動費申請

分科会・専門委員会担当の岩崎理事より、4SIGからの活動費の承認申請が挙げられ、復興支援講習会に関する申請額分のみ一旦保留とし、審議の結果、満場一致で承認された。

- 1) コミュニケーションSIG
2013年8月Comsig講習会 in 岩手活動費
2013年10月コミュニケーション講座(名古屋)活動費
2014年4月第2回東日本大震災復興支援リハ工学講習会(郡山)活動費
- 2) 乗り物SIG
2013年10月かなりはフェスティバル(神奈川)活動費
- 3) 特別支援教育SIG

2014年4月第2回東日本大震災復興支援リハ工学講習会(郡山) 活動費

4) 移乗機器SIG

2014年2月移乗機器SIG講習会2014(鹿児島) 活動費

承認11、非承認0

第16号議案(決議)「補装具費支給制度の適切な理解と運用の在り方に関する調査研究」の調査等とりまとめの依頼について

広報・渉外担当の塚田理事より、公益財団法人テクノエイド協会様より、協会宛に「補装具費支給制度の適切な理解と運用の在り方に関する調査研究」の調査等とりまとめの依頼があり、提案された。審議の結果、満場一致で承認された。

承認11、非承認0

第17号議案(決議) 公益認定申請に係るパブリックコメントの募集について

公益法人化担当の相良理事より、8月の社員総会にて決議された本年度事業の1つである公益認定申請に係るパブリックコメントの募集についての具体的事項(期間、方法、資格等)が提案された。審議の結果、幾つかの検討を要する項目があったため、次回理事会までに修正案を提示することとして継続審議となった。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2013(平成25)年度第4回(通算第19回)理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(13時40分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2013年12月8日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成25年度第4回理事会

議 長 繁成 剛

議事録署名人 鈴木 聖貴

議事録署名人 塚田 敦史